



平成を顧みて

4月に天皇が退位され、5月からこれまで親しまれてきた元号「平成」から新しい元号に変わることが、先般閣議決定されました。平成を顧みると、経済的には、バブル崩壊、リーマンショック等が起こり大きな影響がありました。加えて、少子高齢化の進展により、人口減少時代に突入し、「経済大国日本」に停滞感が漂っています。政局的にも、この31年で18人もの首相（竹下登・宇野宗佑・海部俊樹・宮沢喜一・細川護熙・羽田孜・村山富市・橋本龍太郎・小淵恵三・森善朗・小泉純一郎・安倍晋三・福田康夫・麻生太郎・鳩山由紀夫・菅直人・野田佳彦・安倍晋三）が国政を担当するという激動の時代でした。地方自治関係では、平成10年頃から都道府県合併の道州制の議論がなされ、市町村においても合併議論が頻繁に行われ、平成の大合併が政府主導で行われ、広島県においては、

全国に先駆けて合併が推進されました。また、雲仙普賢岳噴火・阪神淡路大震災・新潟中越地震・東日本大震災・熊本地震災害・西日本豪雨災害等の大災害に見舞われる等、これまでの想定を超える災害が幾度も起こりました。このような状況に備えるため、本市としては、安芸高田警察署をはじめ、病院、施設、各種団体等と協定を締結するなど協力体制を構築してきました。本市は、平成16年3月に高田郡6町が合併し誕生しました。合併からこれまで、様々な施策に取り組み一定の成果はあったと感じていますが、新しい時代を迎え取り巻く環境も一層厳しくなると思っています。そのような中ではありますが、本市に住みたい、住み続けたいと思っただけのよう、昨年の災害からの復興を行うとともに人口減少対策に引き続き取り組んでまいりたいと思います。

「平成」安芸高田市の主な出来事	市長
16年3月 安芸高田市誕生	児玉更太郎
16年4月 道の駅「北の関宿」安芸高田「竣工」	
17年3月 「吉田温水プール」竣工	
18年2月 「特別養護老人ホームかがやき」竣工	
19年3月 「消防署北分駐所」竣工	浜田一義(1期目)
19年11月 「第2庁舎・総合文化保健福祉施設」竣工	
21年4月 結婚サポート事業開始 男女共同参画宣言都市	
22年10月 新公共交通システム運行開始 中馬農道竣工・給食センター竣工	浜田一義(2期目)
23年4月 年間150日の「神楽定期公演」開始 汚泥処理センター「清流園」竣工	
23年7月 「高校生の神楽甲子園」開始	浜田一義(3期目)
23年8月 ふるさと応援の会発足	
24年1月 「ひろしま安芸高田神楽東京公演」開始	
25年3月 「土師タムサイクリングターミナル」竣工	
25年10月 「葬斎場あじさい聖苑」竣工	
26年6月 高速通信網光ネットワーク整備	
27年5月 「向原生涯学習センターみらい」竣工 子ども発達支援センター開設	
28年3月 芸備線100周年	
28年3月 三原市・北広島町と三矢の訓協定締結	
28年4月 安芸高田市女性消防団結成	
29年5月 「富士通」とのテレワーク実証実験実施	
29年9月 「生活支援員制度に関する協定」調印	
30年3月 三江線廃止	
30年4月 「八千代小学校」「甲田小学校」誕生	
30年7月 西日本豪雨災害による甚大な被害発生	
30年12月 「あしたのチーム」「サテライトオフィス協定」	
31年4月 「愛郷小学校」誕生予定	

